

I 令和 8 年度事業計画

1 令和 8 年度事業計画概要

国際情勢は先月末に開始されたアメリカ、イスラエルによるイラン侵攻により緊迫の度合いを深めており、ホルムズ海峡の封鎖に伴う原油の輸入停止はわが国の経済活動に極めて甚大な影響を及ぼそうとしている。

国内では先の衆議院選挙での圧倒的勝利を受けた高市内閣の「責任ある積極財政」や「二年間限定の食料品消費税ゼロ」をはじめとした経済政策に期待が集まっているが、円安傾向に顕著な変化は見られず、中東情勢も相まって、飼料や燃料を中心に生産資材全般のさらなる高騰への懸念が高まっている。

国内の畜産情勢は、鶏卵や豚肉を中心に一定の相場を維持しているものの、生産者の経営安定化のためには、価格の維持に加え、生産コストのさらなる引き下げについて取り組んでいくことが引き続き、重要である。

このような環境の中、当協会は令和 8 年度も県下畜産生産者の経営基盤の維持・強化を最大の目的として、生産基盤強化のための畜産クラスター機械導入事業、労働負担軽減を図る畜産 ICT 事業や楽酪 GO 事業、衛生指導面でのバイオセキュリティ強化、県内畜産物の安全確保に資する農場 HACCP の構築など様々な支援に取り組むこととする。

受託する団体事務局機能としては、国・県への要望活動や流通団体への食肉消費拡大支援、県民・消費者に向けての理解醸成・広報活動、さらには女性の畜産業で活躍促進支援等にも積極的に取り組み、畜産団体の健全な発展に資することとする。

また、当協会が将来的にも安定した運営基盤を維持・継続していくため、新たな人材の確保、資金運用等について、積極的に取り組むこととする。